学校番号	3009

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本』（実教出版） 『新詳高等地図』（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は、これまで日本史 A と世界史 A で学んでいたことを総合的に学ぶ科目です。日本史 A と世界史 A では、それぞれ特定の地域に偏った歴史を学ぶことが中心でしたが、この科目は普遍的に歴史を見ていくことが目標です。そのため、学ぶ内容・範囲は広くなり、それだけ難しく感じることもあるかもしれません。しかし、授業において一つひとつの事例を丁寧に見ていくことで、それぞれの地域の歴史的なつながりを理解していくことができます。多面的･多角的な歴史観を養い、世界を総合的に見ていくための基礎を築いていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
私たちの生活や身近な地域などを事例に、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性を、資料から読み取った情報を基に考察し、表現できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
中学校社会科における学習の成果を活かし、歴史的な考察の方法やその特質を主体的に理解できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が資料に基づき歴史的に叙述されていることを理解し、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。	近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性を、複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などから考察し、表現している。	中学校社会科における学習の成果を活かし、必履修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質を主体的に理解しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	近代化と私たち	近代化への胎動 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 欧米諸国と日本の国民国家形成 帝国主義の時代	a: 交通と貿易、産業と人口、権利・義務意識と政治参加、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読みとり、まとめる技能を身に付けている。 b: 交通と貿易、産業と人口、権利・義務意識と政治参加、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用して、近代化にともなう生活や社会の変容を考察し、問いを表現している。 c: 交通と貿易、産業と人口、権利・義務意識と政治参加、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から、情報を読みとり、まとめ、複数の資料を比較して関連付けることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	定期考査 提出ノート 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 提出ノート 提出レポート
	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会 経済危機と第二次世界大戦	a:アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読みとり、まとめる技能を身に付けている。 b:アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用して、国際秩序の変化や大衆化にともなう生活や社会	定期考査 提出ノート 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 提出ノート 提出レポート

後期			の変容を考察し、問いを表現している。 c:アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から、情報を読みとり、まとめ、複数の資料を比較して関連付けることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。			
	グローバル化と私たち	冷戦と脱植民地化 多極化する世界 グローバル化と現代世界	a: 冷戦や人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症などに関する資料から情報を読みとり、まとめる技能を身に付けている。 b: 冷戦や人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症などに関する資料を活用して、グローバル化にともなう生活や社会の変容を考察し、問いを表現している。 c: 冷戦や人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症などに関する資料から、情報を読みとり、まとめ、複数の資料を比較して関連付けることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	定期考査 提出ノート 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 提出ノート 提出ﾚﾎﾟｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度